

いのちの授業【英語科】学習指導案

指導者 T・S

1. 本時の指導

(1) 題材 みなおなじ地球の子 (難民問題)

(2) 目標 難民を生み出す背景を通して、人権や平和について考える。(英語科)

難民の発生原因から緊急支援の仕方までを疑似体験し、難民の姿を心理的・共感的に理解する。また、教育を受けることができる自分たちは、本当に自分の生活を大切にしているかを振り返る。
(いのちの授業)

(3) 指導過程

	学 習 活 動	主な発問()と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導 入	難民とはどういう人のことをいうのかを VTR を通して知る。(10分)	難民とはどういう人のことを言うのでしょうか。 VTR を見て、確認しましょう。	・VTR の前後で難民に対するイメージに変化があるかどうかを確認する
展 開	難民がおかれている状況を共感的に理解する。	シュミレーションを始めます。 ルールに従って、2家族ごと開始しましょう。時間は25分です。	・シュミレーションの間に起こった事を、難民のおかれている状況と比較しながら考える
ま と め	各状況ごと感想を発表し、体験を共有する。	活動を振り返って感想を発表してください。 ・安全な生活を得た人 ・迫害を受けて他国へ逃げた人 ・迫害を受けても自国に残ろうとした人 ・死んでしまった人 の状況ごとに数名ずつ発表する	ボード上で生きることすら難しい状況を疑似体験し、その中で必死に生きようとする難民の姿を心情的・共感的に理解できるようにする
い の ち の ま と め	難民問題に向けて自分たちに何ができるのかを考える。	難民にとって、どんなものが必要だと思いましたか 難民のために自分にできること、また、学校に通うことができる今の自分を見つめなおしてみよう。	・時間があれば、UNHCR や国境なき医師団の活動を紹介する ・恵まれた環境にある自分の生活を振り返らせたい。

(4) 評価

難民問題について理解することができたか。

難民の気持ちを考えることを通して、自分が彼らのためにできることを考えたり、自分の生活を見つめなおすことができたか。